

## 令和7年度町政運営基本方針並びに予算編成について

### 【町政運営基本方針】

町長に就任して以来、さまざまなやりたいこと、やらなければならないことがある中で、元銀行員としての経験を活かし、無駄を省き、常に財政とのバランスを考え、優先順位をつけて町政運営を行ってまいりました。

このような信念のもと、令和7年度は、これからの50年・100年を見据えたプロジェクトである、新庁舎及び文化・スポーツ複合施設の整備事業を筆頭に、今まで以上に、未来へ向けての積極的な投資を行ってまいります。

新庁舎につきましては、高根沢町の新たなシンボルとなる新庁舎等の実施設計とイベント広場など外構施設の設計を開始するとともに、町民広場内の施設解体工事に着手します。DXによる行政運営の効率化や、町民の利便性向上などを含め、町制70周年である令和10年の完成に向けて、事業を進めてまいります。

また、持続可能なまちづくりのためには、安定的な財源を確保することが欠かせません。その手法の1つとして、企業誘致を図るため、令和12年度の方譲完了を目指して、新たな産業団地の整備を上高根沢地区で進めてまいります。町の雇用創出、定住人口増加にもつながる、重要な事業と位置づけて取り組んでまいります。

次に、人口減少、少子高齢化の対策が急務である中、高根沢町では18歳までの医療費無償化にいち早く取り組むなど、独自にさまざまな施策を行ってまいりました。その取り組みをより一層加速・強化していくため、学校給食費と園児の副食費を月額2,500円減免いたします。少子化は、日本の将来に直結する問題であり、国や県の動向も見定めながら、町としても積極的に子育て支援に取り組んでまいります。

そして、農業者の高齢化や担い手の減少に伴い、農村環境を維持することが困難となっていることから、町内全域を対象とした広域的な保全活動組織を2月に設立しました。農村環境を守るために、県内でも今までに例のない新しい広域活動組織を中心に「多面的機能支払交付金制度」を活用し、農地の保全活動に取り組んでまいります。

さらに、まちの賑わいづくり、さらなる交流人口・定住人口の増加に寄与するためには、「道の駅たかねざわ元気あっぷむら」の再生が不可欠であり、町の考えをスピーディに反映させるため、新たな運営体制を構築することが最適だと判断し、町が100%出資する持株会社を設立しました。さらなる高根沢町の魅力を創出していくため、道の駅たかねざわ元気あっぷむらのポテンシャルを、最大限に引き出してまいります。

令和7年度は、<sup>ゆうびむかん</sup>有備無患、すなわち、備えあれば憂いなしと申しますように、適正な財政規律を確保し、ビジネスで培った経営に対するバランス感覚のもと、未来へ向けての積極的な投資を行っていくことで、将来にわたって、町民の皆さまの幸福感が高まるまちづくりに取り組んでまいります。

## 【予算編成について】

続きまして、令和7年度予算の概要について、ご説明申し上げます。

まず、一般会計でございますが、予算規模は131億1千万円であり、前年度予算の106億8千万円と比較いたしますと、24億3千万円の増額、率にして22.8%の増であり、過去最大の予算規模となっております。

次に、各特別会計の予算額と、前年度予算額との比較について説明いたします。

- 国民健康保険特別会計は、25億3,070万1千円であり、保険給付費の増加により、3.6%の増となりました。
- 後期高齢者医療特別会計は、3億8,223万4千円であり、被保険者数の増加に伴う後期高齢者医療広域連合納付金の増加により、1.1%の増となりました。
- 介護保険特別会計は、23億4,954万2千円であり、地域支援事業費の増加により、0.6%の増となりました。

公営企業会計につきましては、収益的支出と資本的支出を合わせた予算規模になりますが、

- 水道事業会計は、9億1,058万6千円であり、5.5%の増となりました。
- 下水道事業会計は、14億6,326万1千円であり、5.1%の増となりました。

なお、下水道の整備率につきましては、令和6年度末では88.6%の見込みとなっており、令和7年度実施予定の整備面積を含めると、90.2%となる見込みとなっております。

以上、6会計を合わせた令和7年度の予算総額は、207億4,632万4千円となり、前年度と比較しますと、26億5,221万1千円の増額、率にして14.7%増の予算編成となりました。

続きまして、地域経営計画の分野別事業を中心に説明させていただきます。

• 一つ目の「子ども・教育・生涯学習分野」につきましては、

まず、国の交付金を活用し、児童生徒の学校給食費保護者負担金及び幼稚園児・保育園児の副食材料費の減免を拡大します。

また、老朽化した阿久津中学校の大規模改修工事を実施し、教育環境の整備に取り組みます。

さらに、熱中症対策のため、小学校の屋内運動場に冷風機を導入します。

• 二つ目の「健康・サポート分野」につきましては、

まず、令和7年4月から開設する民間の児童発達支援センターにおいて実施される、医療的ケア児に対する看護師のケアに加え、町独自に加配を行うことで、より手厚い支援を行います。

また、認知症高齢者等が、外出時に行方不明となった場合、早期に発見して保護するため、見守りシールを利用した連絡及び連携体制を整えます。

- 三つ目の「魅力・活力分野」につきましては、

まず、「多面的機能支払交付金制度」を活用し、広域的な保全活動組織により農村地域全体を対象とした農地の保全活動に取り組みます。

また、「道の駅たかねざわ元気あっぷむら」を、指定管理者として町100%出資会社である「株式会社元気あっぷ」へ管理運営を委託し、より効果的、魅力的に運営します。

さらに、雇用の創出や、地域経済の活性化を図るため、新たな産業団地の整備に向けた測量等を行います。

- 四つ目の「環境・社会基盤分野」につきましては、

まず、脱炭素化を普及促進するために、断熱リフォームの費用や電気自動車の購入費の一部を補助するよう、補助内容を拡充します。

また、安全で円滑な交通を確保するため、町道380号線、通称グリーンラインの舗装修繕を行います。

さらに、誰もが公園を快適に利用できるように、ファミリー公園の老朽化したトイレを更新します。

- 五つ目の「安全安心分野」につきましては、

まず、放置されている空家等の対策として、利活用できる空家は、空き家バンク制度の活用を推進し定住等の促進を図り、周囲の生活環境への悪影響を与える倒壊等のおそれのある特定空家等は、除去費用の補助を行います。

また、消防団活動を円滑に行うため、老朽化したポンプ自動車と本部照明車を更新します。

・六つ目の「マネジメント分野」につきましては、

まず、新庁舎整備のため、実施設計を行うとともに、町民広場内の既存施設の解体を行います。

また、全庁業務量調査結果において、洗い出された課題の解決のため、BPRの手法を用いて業務のさらなる効率化を目指します。

令和7年度予算についての概要説明は、以上のとおりでございます。

#### 【結び】

近年の気候変動による環境の変化は、身をもってその脅威を感じる状況となっております。「希望の持てるまちを後世に引き継いでいく」ためには、環境への配慮が不可欠であり、カーボンニュートラルへの取組みをより進めていく必要があります。

引き続き「くらし 高まる たかねざわ」をキャッチフレーズに、未来へ向けての積極的な投資を行ってまいりますので、議員各位並びに町民の皆さまには、ご理解、ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。